

A

☆ 自立活動の指導のための個別の指導計画

○ 小・中学校学習指導要領に示されている作成手順の一例

平成29年6月に示された小学校学習指導要領解説総則編及び中学校学習指導要領解説総則編では、次のように述べています。

個別の指導計画の作成の手順や様式は、それぞれの学校が児童（生徒）の障害の状態や発達や経験の程度、興味・関心、生活や学習環境などの実態を的確に把握し、**自立活動の指導の効果が最もあがるように考えるべき**ものである。

したがって、ここでは、手順の一例を示すこととする。

（手順の一例）

- a 個々の児童の実態を的確に把握する。
- b 実態把握に基づいて得られた指導すべき課題や課題相互の関連を整理する。
- c 個々の実態に即した指導目標を設定する。
- d 特別支援学校学習指導要領小学部・中学部学習指導要領第7章第2の内容から、個々の児童（生徒）の指導目標を達成させるために必要な項目を選定する。
- e 選定した項目を相互に関連付けて具体的な指導内容を設定する。

*（生徒）は中学校学習指導要領の際の表記

* 下線、太字は、本資料作成に当たって福島県特別支援教育センターにおいて追記

○ 自立活動って何？

自立活動の目標

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

* 引用：「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章自立活動」

これが、自立活動！

教育活動

学習や生活上の

障がいによる
つまずき・困難

B君

B君の障がいに対して
必要な学習を加える

教育活動

改善
克服

心身の調和的発達

B君の障がいによる困難さに対する指導は、「B君ならではの」指導です。だからこそ、個別の指導計画が必要であり、その活用、引き継ぎが大切になってきます。

新学習指導要領に対応した考え方を盛り込んだ計画（例）を掲載しました。

ここでは、2種類の例を示します。

A-1タイプ・・・自立活動の考えを踏まえ、丁寧に指導内容まで考える形式です。

A-2タイプ・・・自立活動の考えを踏まえ、1枚程度で計画します。

* 各学校で活用しやすいように、自由に加筆、訂正、修正して活用ください。

参考：自立活動を詳しく知りたい方は、第1章2 ☆「自立活動って何？」をご覧ください。